

Financial Results for the Fiscal Year 2021

2021年12月期決算説明資料

SEMBA

株式会社 船場 証券コード：6540

3.March/2022

1

2021年12月期連結決算の状況
及び 2022年12月期の業績見通し

2

中期経営計画

(参考)

企業概要

1

2021年12月期連結決算の状況
及び 2022年12月期の業績見通し

2021年12月期連結決算の状況

2021年12月期は減収・増益

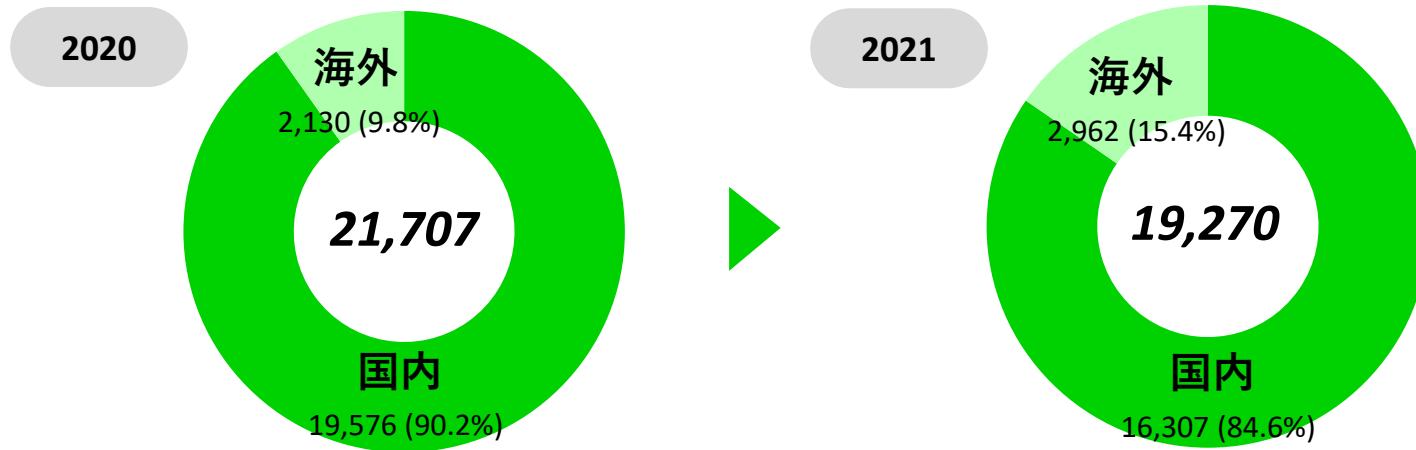
単位：百万円

科目	2020		2021			ポイント
	金額	構成比	金額	構成比	前期比	
売上高	21,707	100.0%	19,270	100.0%	88.8%	新型コロナウイルス感染症の影響による投資抑制・計画延期に伴う売上高減少
売上総利益	3,140	14.5%	3,218	16.7%	102.5%	継続的な工事原価の低減、DX推進による業務の効率化等による生産性向上に伴う増益
販管費	2,760	12.7%	2,755	14.3%	99.8%	前年と横ばい
営業利益	380	1.8%	463	2.4%	121.8%	売上総利益の増加による増益
経常利益	408	1.9%	471	2.4%	115.4%	営業利益の増加による増益
特別利益	269	1.2%	62	0.3%	23.0%	前期は投資有価証券売却益を計上していたため減少
特別損失	33	0.2%	67	0.3%	203.0%	関係会社株式評価損計上に伴う損失増加
親会社株主に帰属する当期純利益	357	1.6%	296	1.5%	82.9%	税金等調整前当期純利益減少により減益

国内経済の停滞が影響

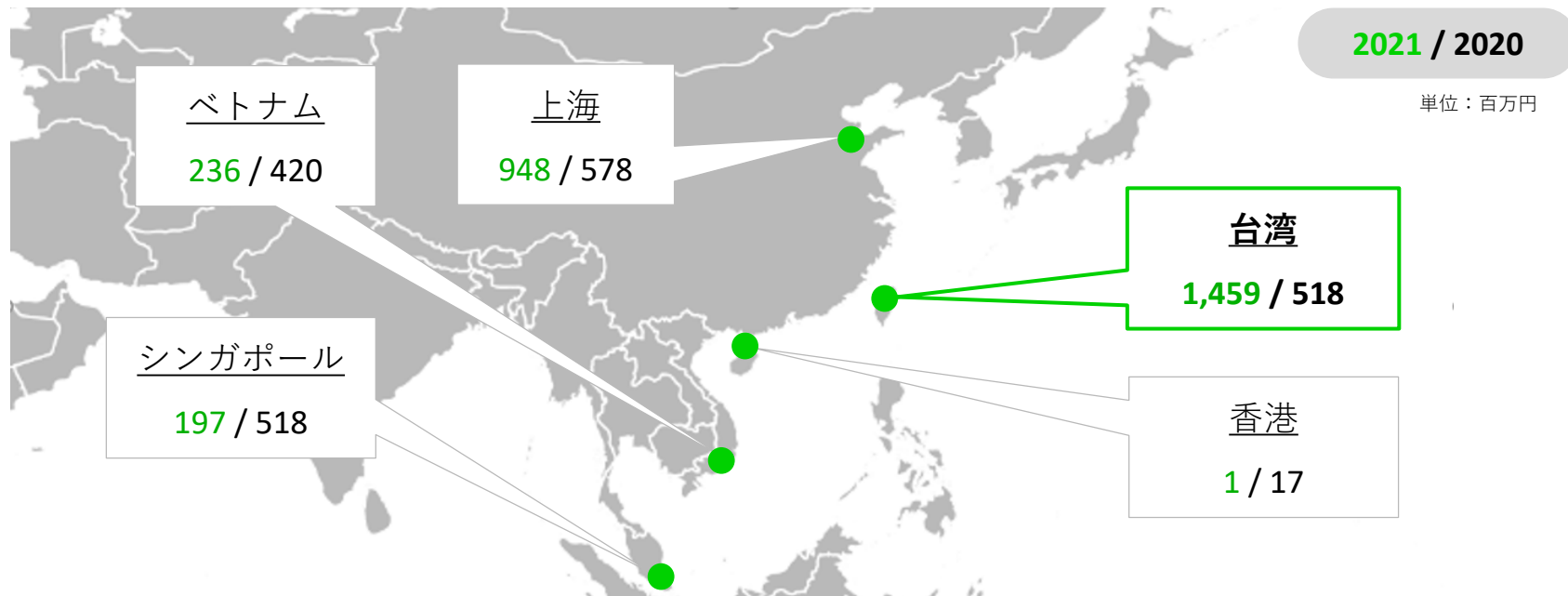
売上高構成比

単位：百万円



注： 数値は連結消去後の数値を使用しております。また、適用為替レートは12ページの補足説明事項をご覧ください。

台湾が大型案件の開発もあり好調



注：海外各社の売上高は連結消去前の数値を使用しております。また、適用為替レートは12ページの補足説明事項をご覧ください。

注力分野の売上増加

単位：百万円

市場分野	2021	
	売上高	
	金額	前期比
専門店	7,015	77.5%
大型店・複合商業施設	7,986	92.5%
注力分野 オフィス 金融機関 医療機関 教育機関 など	4,268	106.0%
合計	19,270	88.8%

2021年12月期連結決算の状況（連結貸借対照表）

単位：百万円

科目	2020.12末		2021.12末			ポイント
	金額	構成比	金額	構成比	前期末比	
流動資産	13,423	87.5%	15,082	89.7%	112.4%	現金・預金及び売上債権の増加などにより 16億59百万円増加
固定資産	1,919	12.5%	1,722	10.2%	89.7%	差入敷金保証金及び繰延税金資産の減少などにより 1億97百万円減少
資産合計	15,343	100.0%	16,805	100.0%	109.5%	
流動負債	4,029	26.3%	5,435	32.3%	134.9%	仕入債務及び前受金の増加などにより14億6百万円増加
固定負債	783	5.1%	508	3.0%	64.9%	退職給付に係る負債の減少などにより2億75百万円減少
負債合計	4,813	31.4%	5,944	35.4%	123.5%	
純資産	10,530	68.6%	10,860	64.6%	103.1%	配当金の支払があったものの、親会社株主に帰属する当期純利益の 計上、その他の包括利益累計額の増加により3億30百万円増加
負債純資産合計	15,343	100.0%	16,805	100.0%	109.5%	

単位：百万円

科目	2020	2021	前期比	ポイント
	金額	金額	差額	
営業活動によるキャッシュ・フロー	446	536	90	税金等調整前当期純利益の計上などにより5億36百万円の収入
投資活動によるキャッシュ・フロー	250	16	▲234	敷金及び保証金の回収などにより16百万円の収入
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲438	▲192	246	配当金の支払などにより1億92百万円の支出
現金及び現金同等物 増減	239	437	198	
現金及び現金同等物 期首残高	7,979	8,218	239	
現金及び現金同等物 期末残高	8,218	8,656	438	前期末に比べ4億38百万円増加

注力分野の受注残高が増加

単位：百万円

市場分野	2021	
	受注残高	
	金額	前期比
専門店	1,362	118.8%
大型店・複合商業施設	1,699	116.4%
注力分野 オフィス 金融機関 医療機関 教育機関 など	2,257	461.4%
合計	5,320	171.9%

経営的視点等を勘案し計画通りの配当

1株当たり年間配当金	25.0 円/株
配当性向	86.0 %

株主の皆様に対する利益還元を最重要経営目標の一つとする基本方針を踏まえ、今後の経営環境や財務の健全性維持及び企業価値の持続的な向上等を総合的に勘案し、上記の年間配当金といたします。

【決算状況の補足説明事項】

適用為替レート

2020:

HKD 13.767／TWD 3.627／SGD 77.426／CNY 15.482／VND 0.004625

2021:

HKD 14.139／TWD 3.935／SGD 81.775／CNY 17.042／VND 0.004683

予算策定時:

HKD 14.00／TWD 3.50／SGD 85.00／CNY 17.00／VND 0.0052

現金及び現金同等物の定義

現金及び現金同等物は、手許現金、随時引き出し可能な預金及び容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なりリスクしか負わない取得日から3か月以内に償還期限の到来する短期的な投資からなっております。

2022年12月期の業績見通し

延期されていた投資計画が再開し 経済活動の活性化も見込まれると想定

単位：百万円

売上高	23,000
営業利益	600
経常利益	600
当期純利益	400
一株当たり当期純利益	39.03 円/株

1株当たり5円増配を計画

1株当たり年間配当金	30.0 円/株
配当性向	76.9 %

株主の皆様に対する利益還元を最重要経営目標の一つとする基本方針を踏まえ、今後の経営環境や財務の健全性維持及び企業価値の持続的な向上等を総合的に勘案し、上記の年間配当金を予定します。

2021年12月期の実績紹介

専門店

ピエトロ本店 セントラーレ：2021年7月オープン

撮影：スタジオライク北山雄司



ピエトロ本店「セントラーレ」が創業40周年を迎え、ピエトロの“今”と“これから”を感じてもらえるようにと、『しあわせ、つながるお店』をコンセプトにレストラン、フードショップ、イートインカフェをミックスしたピエトロの未来へのビジョンを具現化した店舗ヘリニューアル。（設計、施工、造園を担当）

専門店

LUMINE AGRI SHOP NEWoMan新宿店：2021年9月オープン

撮影：白井 裕介



都会と畑を結びながら食の出会いと学びの機会をつくる、(株)ルミネ様の農業プロジェクト「LUMINE AGRI PROJECT」の常設店として「こだわりの品を取り扱うグロスアリーショップ」をデザインコンセプトにした、賑わい感やわくわく感が全面に出るデザイン。（設計、施工を担当）

大型店・複合商業施設

lias（イーアス）春日井：2021年10月オープン

撮影：VA INC. 岡村 靖子



全体環境は「みんなのわ春日井」をデザインコンセプトとし施設全体でSDGsを意識したエネルギーの有効活用や高齢者や体の不自由な方のためのユニバーサルデザインで設計し、多様性のある施設創りを心がけました。（MD提案から設計、施工、内装監理までトータルに担当）

企業改革の重要テーマ

エシカル と デジタル

働き方 と 考え方を Transformする

新たな価値創造の大きなチャンスであると捉え
サービス提供の向上と新たな事業領域拡大を目指します。

エシカル

日本空間デザイン賞2021 / サステイナブル空間賞 受賞

本社オフィス「GOOD ETHICAL OFFICE」



撮影：青木勝洋写真事務所

本社オフィスを“GOOD ETHICAL OFFICE”として
リニューアルいたしました。

「HACKABLE DESIGN」をデザインコンセプトに
「エシカルとデジタル」を実装しハブオフィスの
新たな価値を追求。

日本空間デザイン賞2021Longlist及びサステイナブル
空間賞を受賞。

※ 日本空間デザイン賞とは、一般社団法人日本空間デザイン協会と一般社団法人日本商環境デザイン協会が主催する、日本で唯一かつ最大のアワード。
2021年より新たに「サステイナブル空間賞」が新設。

エシカル

老朽化した校舎のリニューアルプロジェクト

撮影：白井 裕介



当社がワークショップの講師を担当した新渡戸文化学園の学校改革に伴うリニューアルプロジェクト。生徒や先生方と気持ちよく楽しく過ごせる学校を目指してディスカッションを重ね、当社が業務提携を行う株式会社モノファクトリーとともに教室・ホール・自立型学習をサポートする学習機をデザイン。

デジタル

総務省より「テレワーク先駆者百選」に選定



テレワーク先駆者百選とは

総務省では、平成27年度からテレワークの導入・活用を進めている企業・団体を「テレワーク先駆者」とし、その中から十分な実績を持つ企業等を「テレワーク先駆者百選」として公表しています。

※ 令和3年度 テレワーク先駆者百選は新たに103団体が追加され合計346団体が認定

デジタル

新宿東口献血ルーム：2021年12月オープン

撮影：白井 裕介



献血ルームの「ニュースタンド」[®]として誕生した日本最大級の献血ルーム。木目調とソフトな色合いのグリーンを基調にエシカルな雰囲気を取り入れ、待合エリアには献血ルーム初となるデジタルサイネージを用いた専用の呼び出し案内を設置し献血ルームのDX化も推進。（設計、施工を担当）

2

中期経営計画

< 2022年12月期～2024年12月期 >

企業理念

SUCCESS PARTNER

経営方針

MISSION (社会で実現したいこと)

未来にやさしい空間を

VISION (ミッションを実現した時の状態)

GOOD ETHICAL COMPANY

気のあるエシカルな仲間たち

行動指針

VALUE (大切にする価値観や行動指針)

私たちは お客様の立場に立って満足を追求します

私たちは 情熱と誇りをもって価値を創造します

私たちは 自らの努力と仲間の力で可能性に挑戦します

私たちは 高い倫理感を持って誠実に行動します

私たちは 安全を最優先に考え安心を提供します

現行の社是の精神を企業理念として掲げ、長期的な経営方針としてMVVとしました。
行動指針については、変更なくその内容を維持しています。

スローガン

Make a New Wave!

新しい波を起こせ！

エシカルとデジタルの実装 / 新たな市場の開拓

戦略



エシカルと
デジタルの実装



新たな市場の開拓



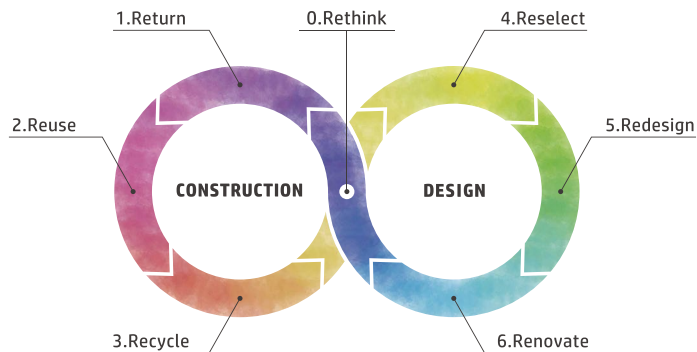
SEMBA One Asia
(海外事業戦略)



変化を支える
ダイバーシティ戦略

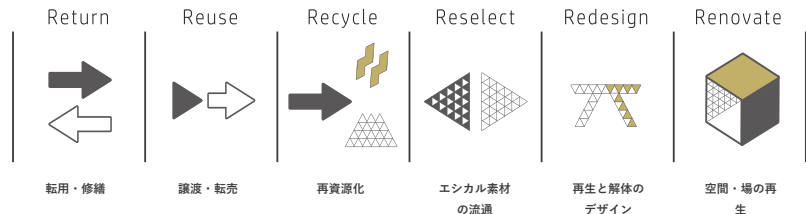
空間の「再生」と「継承」

CIRCULAR RENOVATION®



“資源を無駄にしない”SEMBAの事業サービスを通じて
環境マネジメントを推進

※ CIRCULAR RENOVATIONは、株式会社船場の登録商標(登録番号第6475685号)



2022

最終リサイクル処分迄の
トレーザビリティ開始

2024

当社設計施工案件の廃棄物
リサイクル率 90%以上

環境への貢献を見える化



温室効果ガス排出削減目標の国際認定
であるSBT認定の取得




2022

Commitment Letter提出

2024

SBT認定取得

DX基本戦略 「働き方と考え方をTransformする」

DX戦略推進に関する財務・投資方針 

BIM内装先駆企業へ



内装業界デジタル化のフロントランナーとして
BIMを標準装備し、循環型の新しいワークフローをつくります。



※ BIMとは、Building Information Modelingの略称で、コンピューター上に作成した3次元の建物のデジタルモデルに、コストなどの属性データを追加した建築物のデータベースを、建築の設計、施工から維持管理までのあらゆる工程で情報活用を行うためのソリューションであり、また、それにより変化する建築の新しいワークフローです。

2024

当社設計職の70%以上が基本技術習得

BIMによる提案力の強化



VRやAR技術を活用した空間デザイン提案手法
(バーチャルシミュレーション)を推進し、
デザイン提案力強化と生産性向上を進めます。



2024

当社設計物件年間200件での活用



新たな市場の開拓

加速

エシカルな空間を拡大

売上構成比の50%を非商業に

- ABW/エシカル・ワークプレイス
- エシカル・デジタル教育施設
- 空間×ヘルスケア/ウェルビーイング

問題解決

ソリューション&ライツ

商業よりスタートする新形態事業

- エシカル・コンサルティング
- 内装意匠のライツビジネス

挑戦

新市場・業態

新たな市場での新たな業態チャレンジ

- 廃棄物マネジメント
- 遊休地・ビル再生事業
- トータルBIMサービスの提供
- VR/AR・AI関係事業



中期経営計画2024では **SEMBA One Asia** を実現、その先は *Beyond Asia* に挑戦

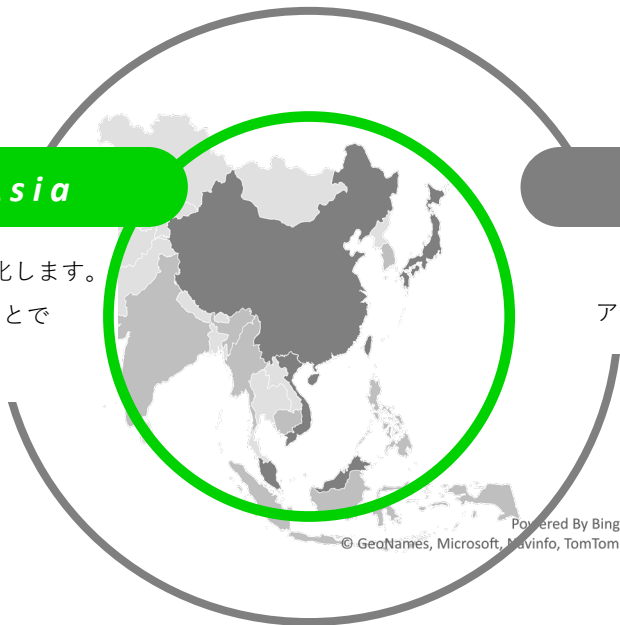
海外統括本部 を設立することにより、海外各拠点の売上アップに繋げる リソース（人・設備・パートナー・資金・情報等）の共有 を図る

SEMBA One Asia

アジアの海外基盤を整え、強化します。
海外統括本部を設立することで
全体の成長に繋がります。

Beyond Asia

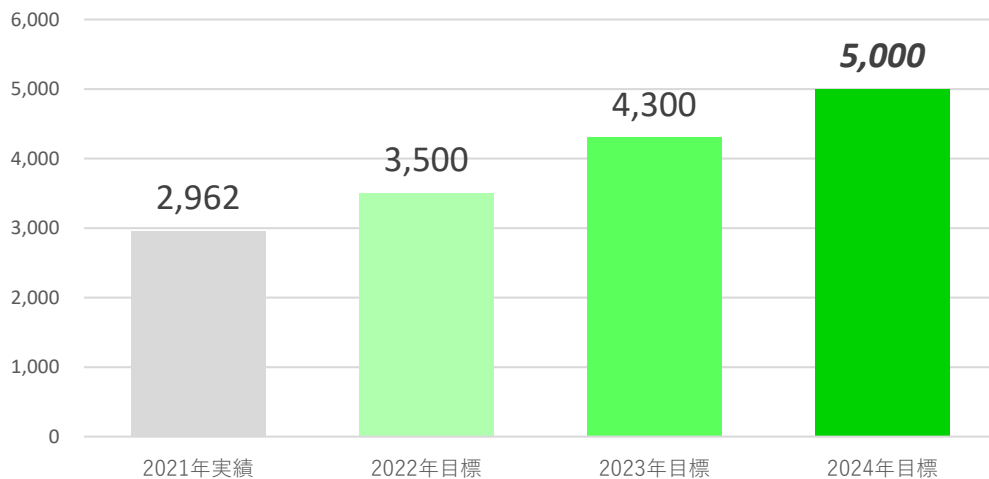
エシカルデザインを広めるため
アジアを超えてチャンスを獲得します。





2024年度に海外事業売上を60%増の50億円以上へ

海外事業売上 (百万円)





“継続的にイノベーションを起こしやすい環境整備を推進する”

= 両面のダイバーシティ（多様性）の重視

会社としてのダイバーシティ

様々な知の組み合わせで、新しいアイデア・知を追求

採用でのダイバーシティ重視

ジョブローテーションや海外勤務を促進

コミュニケーション活性化の環境を優先



一人ひとりのダイバーシティ

インクルージョンの企業文化のもと、個が輝き、高め合う

ジョブグレード（JG）の導入

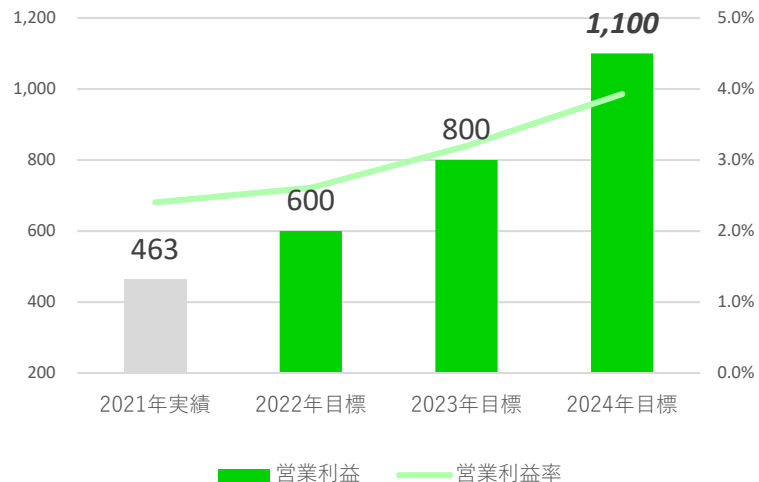
複数スキル取得

リバースメンターの推奨

複業・社内起業・独立を支援



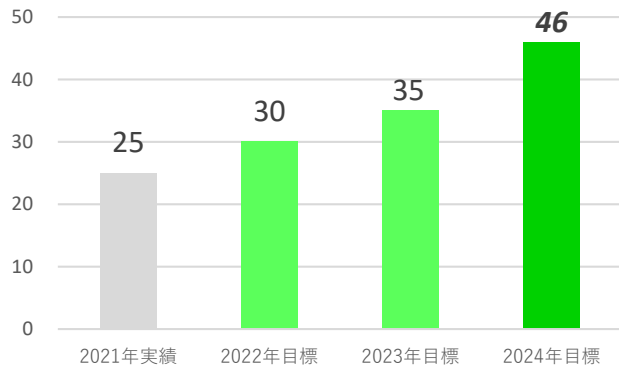
2024年度に営業利益11億円



	2021年実績	2022年目標	2023年目標	2024年目標
売上高	19,270	23,000	25,000	28,000
営業利益	463	600	800	1,100
営業利益率	2.4%	2.6%	3.2%	3.9%
経常利益	471	600	800	1,100
当期純利益	296	400	500	700

※12月期 単位: 百万円

毎年増配を継続、2024年度に過去最高の46円配当を計画

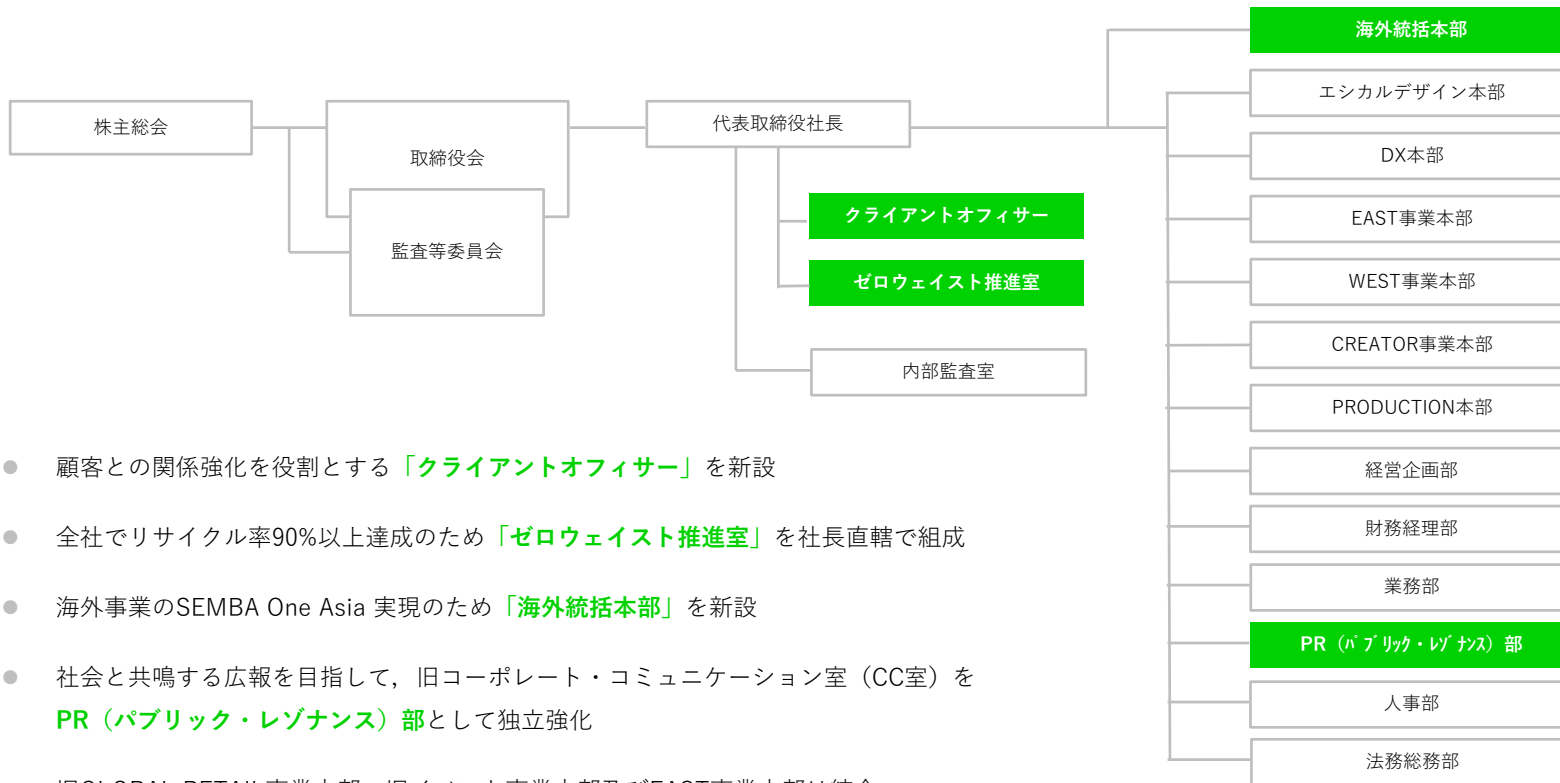


	2021年実績	2022年目標	2023年目標	2024年目標
配当金額	25円	30円	35円	46円

※12月期

(参考) 企業概要

会社名	株式会社船場（英文名称：SEMBA Corporation）
代表者	代表取締役社長 八嶋 大輔
創業	1947年（昭和22年7月）
設立	1962年（昭和37年2月）
所在地	〒105-0023 東京都港区芝浦1-2-3 シーバンスS館 9F
事業内容	(1) 商業施設及びインテリアの企画、設計、監理並びに施工 (2) 市場調査及び分析 (3) 商業施設の管理、運営、販売促進 (4) 陳列用品の設計、製作及び販売 (5) 一般建築業などの業務
従業員数	当社410名 グループ570名（2021年12月末）

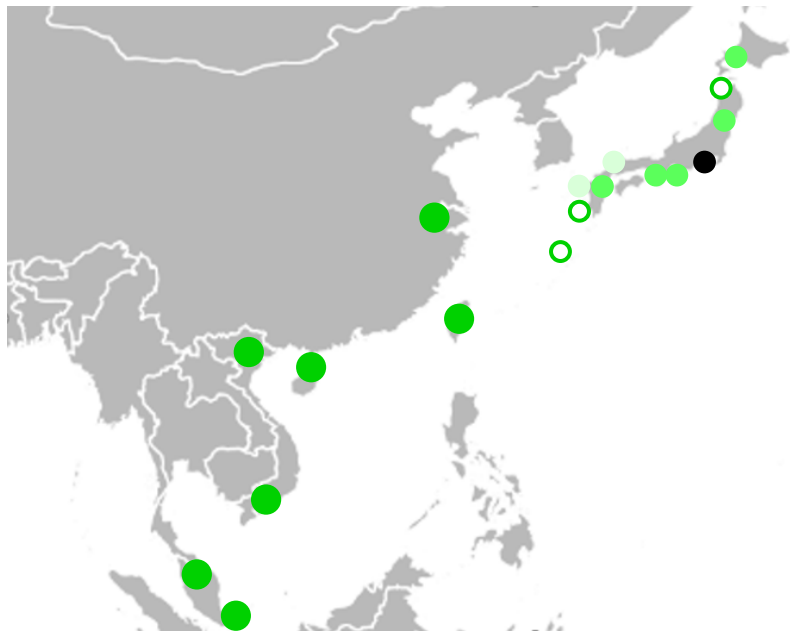


- 顧客との関係強化を役割とする「**クライアントオフィサー**」を新設
- 全社でリサイクル率90%以上達成のため「**ゼロウェイスト推進室**」を社長直轄で組成
- 海外事業のSEMBA One Asia 実現のため「**海外統括本部**」を新設
- 社会と共鳴する広報を目指して、旧コーポレート・コミュニケーション室（CC室）を**PR（パブリック・レゾナンス）部**として独立強化
- 旧GLOBAL RETAIL事業本部、旧イベント事業本部及びEAST事業本部は統合

アジア圏に広がるグループネットワーク

海外拠点

- マレーシア（2019年設立）
- ベトナム/ハノイ・ホーチミン（2015年設立・2013年設立）
- シンガポール（1990年設立）
- 上海（2006年設立）
- 台湾（1987年設立）
- 香港（1984年設立）



東京本社

支店

北海道・東北
名古屋・大阪・福岡

生産工場

出雲・熊本

地域法人

青森・鹿児島・沖縄

【ご注意事項】

本資料は、将来に関する見通しや計画に基づく予測が含まれております。これらの予測及び見通しは、リスク及び不可実性を内包するものであり、その実現を保証するものではありません。実際の業績等は、様々な要因により記載の予測と異なる可能性があります。

【お問い合わせ先】

株式会社 船場 経営企画部

E-mail : ir@semba1008.co.jp

Make a New Wave!